

試運転計画に関する事業部会、監視円卓会議での指摘事項及び対応状況

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
<p>停電対策</p>	<p>停止試験において、「比較的発生する可能性がある停電」を想定し、試験項目としているが、どのような状態をチェックするのか。 (H19.2.13北海道事業部会)</p>	<p>停電から一定時間経過後に非常用電源が起動し、保安運転の対象機器が起動することと施設全体の安全停止を確認する。 (J E S C O)</p>	<p>12月24日の週に停止試験を行う予定です。停電の試験は、日程について電力供給元の新日鐵室蘭と調整中です。</p>
	<p>きちんと用意されているのだけれども、それがうまく働かなかった場合に心配であり、確実にバックアップで供給される保証は必要なだろう。 (H19.2.13北海道事業部会)</p>		
<p>インターロック試験</p>	<p>施設の内外でPCBが漏れてしまったときのインターロック、つまり停止させるときの試験というのは、排気処理第3-1系統異常というところで試験は全部できるとご判断されているのか。 (H19.2.13北海道事業部会)</p>	<p>漏れるおそれがある要因が発生したときにとめるというのが、排気処理第3-1系統異常を想定しているとの説明を行った。さらに、系内でスクラバーが動いているのだけれども、モニタリングで濃度が上がってきたと検知したときに、内部で別な切りかえをやるようなシステムを組んでありますので、そういったものも組める。 (J E S C O)</p>	<p>排気処理第3-1系統に限らず、ある排気処理システムでモニタリング濃度が上がったときに別の系統に切り替えるシステムが正常に起動することは、活性炭を充填する前に確認しました。活性炭充填後の確認は12月3日の週に行う予定です。</p>

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
オフラインモニタリング	日常的なモニタリングは安全性の確保という意味では重要で、オフラインサンプリングは試運転の時だけ行うのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	オンラインモニタリングが正常に機能していることを確認するために、定期的にオフラインサンプリングによりクロスチェックする。 (J E S C O)	操業後は、年2回クロスチェックする予定です。
PCBを使った試験期間の長さ	PCBを使った試験の期間が盆休みにかかるため実質1ヶ月と短いのではないかと。 (H19.2.13北海道事業部会)	盆休みはとらずに試験を行うので、実質短くはない。 (J E S C O)	試運転半ばで設備改善等工事が必要になったため、PCB負荷試運転は年明けから3月半ばに変更されましたが、実質10週間の予定です。
作業員の教育訓練の頻度や方法	作業員の教育訓練について、その頻度はどの程度か。 (H19.2.13北海道事業部会)	運転会社の従業員については2月の初めから、指導的立場の職員には昨年10月から教育している。さらに、北九州事業や豊田事業の施設で、現場教育も行っている。 (J E S C O)	10月から非PCB廃棄物負荷試運転が始まっており、運転会社従業員はJV運転指導員の監視の基に機器・装置の運転を段階的に実施し、操作実施訓練を重ねています。
情報公開	住民や市民に対する情報公開、運転状況の公開は必要で、そのシステム作りはどうか。 (H19.2.13北海道事業部会)	PCB処理情報センターで情報公開する。非PCB廃棄物の試運転時期に監視円卓会議の委員を市民代表として視察していただく予定。 (J E S C O)	実施済みです。
凍結対策	北海道事業所として気象的なものを考慮するとしていたが、寒さ対策はクリアされたと考えてよいか。 (H19.2.13北海道事業部会)	設計段階でいただいたご意見は極力反映し、外壁材の構造や施設内の暖房などの凍結防止の措置も講じた。一部、屋外の水道や工業用水の配管が凍りやすいので、ヒーターの追加も入れる予定。 (J E S C O)	実施済みです。

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
火災対策	試運転では初期消火の練習はするのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	消火栓はこまめに配置していて、発火の際は作業員が初期消火にあたる。化学防護服を着用した消火活動も想定していることから、北海道事業所と室蘭市消防署の連携による総合防災訓練を実施する。 (J E S C O)	平成19年11月6日に実施済みです。
反応槽での金属ナトリウムの発熱暴走を想定した試験	金属ナトリウムの熱暴走により、反応槽の冷却が追いつかない場合に圧力逃し弁から噴出することを想定した試験はするのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	液処理については反応槽の温度異常を緊急停止条件に入れており、反応槽の温度上昇があったという電気信号を入れて試験をし、液が止まったりジャケットの温度制御がきちんといくということを確認する。 (J V)	10月に、反応槽が空の状態での反応槽温度上昇の電気信号により液供給停止とジャケットの冷却が開始するように弁が作動することを確認しました。さらに12月24日の週に行う停止試験では、反応槽が運転状態にあるときに反応槽の温度が設定温度上限を超えたという電気信号を送り、自動停止に入ることを確認する計画です。圧力逃がし弁の作動圧はメーカーで出荷前に確認しています。
操業開始後の試験	試験は試運転期間中だけ行うのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	定期点検などで確認することになる。 (J E S C O)	平成20年9月に最初の定期点検を行う計画ですが、シーケンス試験は必要に応じて実施します。
施設の定期点検	オーバーホールの長期計画はどうなっているのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	先行事業では、年に1～1ヶ月半とめる時期があり、小点検、法定点検を含めて年間2ヶ月くらいあてている。 (J E S C O)	平成20年9月に約1ヶ月の定期点検を行う計画です。

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
操業時の引き渡し運転時のタイムチャートの遅れの可能性	操業時の引き渡し運転時に、タイムチャートに基づいて試験をやって、再度引き渡しを行うということを強調していたが、時間通りいかないことが予測されるのか。 (H19.2.13北海道事業部会)	液処理は概ね予定通りいくと想定しているが、解体や洗浄についてはありうる。 慎重に確認をおこないつつ、引き渡し後も操業開始でいきなり100%フル稼働ということではなく、段階的にあげていく予定。 (J E S C O)	大型/車載トランスの解体プロセスなどでタイムチャート通りに作業が進行できるかを確認することも含めて、引渡性能試験を2月半ばから行う予定です。
チェックリスト	試運転の段階で何をチェックするのか、何を観察するのかに関する、処理できるという確認だけでなく、安全も確認するチェックリスト資料をいずれ提供いただけるようお願いしたい。 (H19.3.15第6回円卓会議)		試運転では処理性能の確認以外に、環境保全性能、作業環境性能等についても確認を行うこととしています。設備ごとに、かつ試運転の段階ごとに「試験要領書兼記録書」を作成した上で、チェックし記録を残しております。
試運転時に運転停止した場合の再開方法	試運転時においても、操業時と同様、運転停止をした場合に、後に再開するときは、円卓会議に報告するという理解でよいか。 (H19.3.15第6回円卓会議)	不測の事故が起きて試運転が継続できない場合も同様に扱わせて頂きたい。 (J E S C O)	道・市の承認をいただいた緊急時対応マニュアルを整備します。
不具合、トラブル等の情報のレベル分けとガイドライン	不具合、トラブル等の情報はレベル分けしていただきたい。レベル分けの考え方を検討していただきたい。 (H19.3.15第6回円卓会議)	レベル分けは必要と考えている。 処理事業検討委員会でもレベル分けをして、それに応じた緊急連絡の仕方、対応の仕方を考えなければ行けない、同じに扱うのは非効率的で、地域住民に無用の心配をかけることになるという意見を頂いている。J E S C Oとして整理していきたい。(J E S C O)	道・市と調整を進めています。

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
	<p>異常現象等の情報に関する連絡・伝達は、報道機関を通じて市民にすべて伝えるのか、それとも、別途ガイドラインを作成して市民に伝えるのか。</p> <p>(H19.5.21第7回円卓会議)</p>	<p>緊急時対応マニュアル案を庁内で検討中。基本的に全て公表する考え方だが、その手続等についてはこれから協議していきたい。</p> <p>(事務局：室蘭市)</p>	
	<p>試運転の段階から、P C B の処理が始まった時点で、ガイドラインを運用して頂きたい。</p> <p>どの報道を見ても、市民が知りたいことと行政が発表することとのずれがあり、トラブルになっているケースが多い。</p> <p>(H19.5.21第7回円卓会議)</p>		
風向の確認	<p>一般市民が処理施設を見る際に、風向を確認できるようにしていただきたい。</p> <p>(H19.3.15第6回円卓会議)</p>	<p>工夫してみたい。風向・風速計になるか、吹き流しになるか検討させて頂きたい。</p> <p>(J E S C O)</p>	吹き流しを設置した。
試運転の途中経過の公表	<p>試運転の途中経過を公表して頂きたい。試運転結果については、マスコミや市の広報等で広く住民に分かるようにして頂きたい。</p> <p>(H19.3.15第6回円卓会議)</p>	<p>試運転の途中で、円卓会議が開催されるので、心がけたい。</p> <p>(J E S C O)</p>	対応したい。
周辺住民も含めた避難訓練	<p>試運転時に、周辺住民にも知らせて避難訓練をした方がよい。</p> <p>(H19.3.15第6回円卓会議)</p>	<p>総合防災訓練として、消防署と連携した訓練をP C B を入れる前の段階で1回実施するが、このときに、連合町会の方にも連絡するので、参加いただきたい。</p> <p>(J E S C O)</p>	平成19年11月6日に実施した。

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
作業の手順書どおりに行かなかった記録の報告	<p>J V や J E S C O が持つ作業の手順書どおりに行かなかった記録については、事業者としてどのような措置をとっていたかの記録がリスクマネジメントの将来に役立つことから、処理事業が行われるようになったら、可能な範囲で報告頂きたい。</p> <p>(H19.5.21 第7回円卓会議)</p> <p>万一事故が起きた場合、それを収拾していく段階で、円卓会議で議論していくと理解してよいか。</p> <p>(H19.5.21 第7回円卓会議)</p>	<p>今までも、漏洩事故を含めているいろいろなトラブルが起きたときには必ず地元自治体にいち早く連絡している。北九州事業では、連絡後、緊急に監視委員会を開催して頂き、現場を見て頂き、意見交換行った。自治体においてそのような判断をしていただければ、当然 J E S C O 側も協力していきたい。</p> <p>(J E S C O)</p>	
PCB廃棄物負荷試運転が延びた理由	<p>全体工程を見直した結果、非PCB廃棄物負荷試運転が半月ほど短縮される一方、PCB廃棄物負荷試運転が延びた理由は何か。</p> <p>(H19.8.1 第8回円卓会議)</p>	<p>PCB廃棄物負荷試運転を長めにとっているので、非PCB廃棄物負荷試運転による手直しが必要な場合はその手直し期間を加えることもあると考えている。</p> <p>(J E S C O)</p>	
基本設計の問題点に対する評価	<p>先行事業の知見等を反映して、6ヶ月の延期とというのはかなりの改善と認識。基本設計の問題点をどう評価しているか。</p> <p>(H19.8.1 第8回円卓会議)</p>	<p>北海道施設は豊田施設と類似の設計。</p> <p>従前から豊田の経験を踏まえて設計の見直しをして頂いたが、J E S C O や運転会社の目でチェックし、もう少し綿密に対策した。また、北海道施設の建設開始後に、豊田施設、東京施設で追加発注したものがあり、それを北海道施設建設においても追加指示し、遅れた。</p>	

項目	委員指摘事項	会議での回答	J E S C O 対応状況
		(J E S C O)	
進捗状況に関するデータの提示時期	進捗状況に関するデータは当日配布ではなく、事前に頂きたい。 (H19.8.1第8回円卓会議)	お詫びする。最新の情報をお出ししたいと考えていたことが原因。 (J E S C O)	対応したい。